

機関紙 たいとう に
皆様の記事をお寄せ下さい!

採用された方に
500円分クオカードを
プレゼントします。

たいとう

東京土建一般労働組合
台東支部
〒110-0012 台東区竜泉1-15-2
Tel:03-3876-1966 Fax:03-3875-5965
Mail:taitou@tokyo-doken.or.jp
HP:http://doken-taito.jp
編集 杉本 郁代



東京駅を目指してパレードしました

7月6日、全都建設労働者による、
対東京都要請の集会在開催されま
した。都庁第二庁舎前には、全都建
設労働団体が旗の元に結集し、私た
ちの代表として各省庁・各局へ出発
する交渉団を、声援と共に送り出し
ました。
午後からは場所を日比谷公園野
音楽堂に移し、予算要求中央総決
起集会が行われました。建設国保へ
の補助金確保とマイナ保険証反対、
さらには、物価高騰をふまえた適正
水準の労働者の賃金・単価引上げを
訴えました。

マイナ保険証強制に反対、建設国保を守ろう 都庁前と日比谷でアピール

全建総連委員長から
の主催者挨拶では、マ
イナ保険証問題につい
て健康保険証の廃止に
反対し、改めて建設国
保の育成・強化を目指
す訴えがありました。

マイナ保険証は必要?

会場からもマイナ保
険証には反対、現行の
保険証の継続を求める
声が多く聞かれました。
従来の健康保険証を廃
止して、マイナンバー
カード(マイナ保険証)
への一本化を、岸田政
権は強行しようとして
います。先の国会で成

久しぶりのあさがおフェスタ 開催にこぎつけた

子供たちの笑顔はしける

久しぶりの開催に向
け、企画の段階からワ
クワクしながら準備を
進めてきました。当日
はたくさんの方が参加
してくれるかとドキド
キしながら7月22日に
支部会館にて開催いた
しました。
射的、スーパーパー
ルすくい、輪投げ、紐
くじ、型抜き、射的、
ガチャポンなどの縁日
イベントのほか、人
気のビーズ工作、プラ
バン工作の全8種を楽
しんで頂きました。
館内には笑い声や自
分で作ったプラバンや
ビーズのストラップを
手にハイポーズ!「楽
しかった」の声もた
さん聞かれ、お子さん
たちの笑顔溢れるイ
ベントになりました。
暑い中ご参加頂き、あ
りがとうございました。
女性の会 新藤間洋子



熱心にプラバン工作に興じます



マイナ保険証反対、従来の保険証存続を訴える

立した改定マイナンバー
法では、遅くとも来年
12月までに保険証を廃
止するとなっています。
しかし、病院の窓口で
カード端末の不具合に
より保険料10割を請求
された、自治体からの
還付返金が別人の口座
に振り込まれた等、マ
イナ保険証をめぐる
毎日のようにトラブル
が報じられています。
地方の高齢患者の多い
個人病院では、マイナ
保険証システムを導入
出来ず、仮に設置でき
てもカードを使いこな
せない高齢患者が多数
出ることが予想される

賃金単価引上げ訴え

集会終了後は、日比
谷から銀座を抜けて東
京駅手前の鍛冶橋まで
パレードを行い、沿道

の人たちに私たちの諸
要求である賃金引上げ、
従来保険証存続をアピ
ルしました。35℃を超
える猛暑の中、汗をぬ
きました。

ぐい、水分を補給しな
がら歩きとおしました。
支部からは12人、全
体で1800人が参加
しました。

木洩れ日



そのあなた、あ
なたは霊の存在を信じ
るだろうか。夏になる
とその類のテレビ番組
を放映するのでつい見
てしまい、結果「もう
やめて」などとテレビ
と会話し続けるはめに
なる。あまりに怖いと
夢に見たりトイレに行
くときに思い出したり
とどうも始末が悪い。
ならば見なければいい
し、そもそも信じなけ
ればよいと思うのだが、
そう単純なことではな
いのだ。神様仏様を大
事にしてきた両親の背
をみて育ったせいとか墓
参りをするといつも心
がスッキリするし、魂
とは来世とはと考える
ことがある。信心深い
わけではないが、霊は
存在するのではと思う。
いつも後ろにいる誰か
さんに守られ助けられ
ている。そう感じるこ
とが人生半世紀を過ぎ
た頃から多くなった。
そのくせ霊に会いた
いとは思わないし、ま
してや霊感などお断り
だ。もし見てしまった
ら、腰を抜かすに違
いない。目に見えぬか
らいいのだ。「ありが
とうございます」と一
人呟くこの距離感がち
やうど良いと私は思っ
ている。日々感謝である。

私の大切なもの ～分会リレートーク～

上野浅草橋分会より2人目は新井八重子さんです。友達との思い出について寄稿頂きました。

彼女と私は子供を持つ母親、小学校入学式で出逢いました。なんとなく気になる存在でした。クラスも同じになりました。話すようになり、地域域の少年野球チームに入り、会って話すことも多くなり、また偶然にも彼女も私も埼玉から台東区に嫁いでいました。家族も似たような境遇で意気投合、何でも話し合える大切な友達になりました。

子供たちが小学校4年生になった1988年4月瀬戸大橋が開通、

「行ってみたいね、行ってちょうか」大きな決断をしてツアーに参加、二人で行く初めての旅行でした。それは楽しかったです。これを機に毎年計画し二十数年間、北海道利尻・礼文から九州、沖縄、島巡りと、国内旅行へ。2011年は東北方面を予定していましたが、東日本大震災で中止、旅行もここで断念しました。



島根県の隠岐へ旅行した時の一枚です

今思えば、我がままを許してくれた主人、家族に感謝感謝です。現在、彼女は施設にいます。残念でなりませんが、コロナ禍でなかなか逢うことができないので、面会の予約をして、家族と一緒にいきます。旅での楽しかったことなどを話します。嬉しそうに微笑んでくれます。彼女とは切な友です。元気でねと祈ります。

上野浅草橋分会
新井八重子

青年部活動報告

交流を深めた
一泊会議

7月8、9日に一泊二日の「分会活動経験交流集会」が群馬県磯部にある磯部ガーデニングにて開催されました。主に50歳以下を対象とした交流会であり、東京土建全36支部から全体で212人が参加、台東支部からは支部青年部長を筆頭に2名の参加がありました。

一日目の全体会では、合計6支部の分会から報告があり、全ての報告者が5〜10分程度の動画を使い、組合員の喜怒哀楽を巧みに表現し工夫を凝らした内容でした。真剣に取り組む様子が描かれており、VTTR上映後の



分散会で発言する青年部の保坂さん

口頭報告でも、充実した様子が見て取れました。特に印象的だったのは、二日間に渡って行われた分散会です。現役で仕事と子育て、後継者育成を担っている方々の参加が多く、和気あいあいとした雰囲気の中、日頃各支部や分会群で感じていた漠然とした悩みや疑問など、ざつとばらんに意見をだし合い、解決策を見出すためのヒントが得られ、大変に有意義な時間を過ごすことができました。

青年部 F・S

第1回 台東支部天国交遊録

小澤 茂通さん
ハツリ・浅草中央分会
元副委員長
組合在籍歴1971-2022

通称「シゲちゃん」

は台東支部の仲間のみならず、他支部や別の民主団体の人たちからも慕われていました。非常に親しみやすく、男気があり、頼まれた断れない性格で、色々な役を引き受けていました。若いころから組合役員として活躍し、長く副委員長を務めました。わたしとは付き合いが非常に長く、青年部から数えると40年以上でした。

あの頃は毎週日曜日に早朝野球を南千住の汐入公園でやっていました。

当時の汐入公園は広大な敷地で、野球が何面もありました。今では想像がつかないでしょう。野球が終わった後の、昼間からの宴会が、とても楽しかったです。その時のシゲちゃんは、本当によく飲みよく食べるのでびっくりした覚えがあります。

また、意外なことに、まめに料理をしたり、カラオケが得意で若い人の歌や外国の曲もたびたび披露してくれました。

数日前まで元気な顔を見せてくれていたのに、突然亡くなってしまいました。あの兄が亡くなったように感じました。シゲちゃんのことだから、今頃天国で矢代と一緒に飲んでいることでしょう。



在りし日の小澤さん

デューク遠藤

【ライトシルバーからのお知らせ】

伊豆下田への一泊旅行を決定!

- ・10月22日(日)～23日(月)
- ・定員15人程度
- ・貸し切り観光バスでの移動です
- ・参加費15,000円

詳細は来月以降、改めてお知らせします

誰でも山柳

「腰伸ばし 愛しき孫と 背くらべ」
「忘れ物 何度戻れば よいのやら」
松が谷分会 I・S

「道訊かれ あの角右と 左指す」
「カレンダー 毎日サンデー 赤ばかり」
上野浅草橋分会 T・F

随時投稿受付中、FAX、メール等で支部へお寄せください

※年度末に大賞を決めます
受賞者にはクオカードを進呈します